生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	採卵時に施行した子宮内膜症性嚢胞穿刺吸引療法の有効性に関する後方視的検討		
1.研究の目的と方法	子宮内膜症性嚢胞に対する穿刺吸引療法は以前より治療として行われてきましたが、その有効性に関しては不明な点も多いです。大きな子宮内膜症性嚢胞を有したまま妊娠した方の場合は、妊娠経過中に破裂するリスクもあり、事前に穿刺吸引を行うことでそういった合併症を回避できる可能性があります。今回は子宮内膜症性嚢胞に対する穿刺吸引療法の有効性、安全性を調査します。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2029 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院で、対象期間 2020 年 9 月 1 日～ 2026 年 6 月 15 日までに内膜症性嚢胞を合併する不妊症患者さんで採卵実施時に子宮内膜症性嚢胞の穿刺吸引療法を行った方です。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	患者さんの基本情報:年齢、BMI、妊娠分娩歴、不妊期間 疾患情報:子宮内膜症性嚢胞の部位、穿刺前嚢胞径、症状の有無、穿刺回数、内膜症吸引液の細胞診結果 生殖補助医療関連情報：治療内容、採卵数、成熟卵数、受精卵数、胚凍結の有無 血液検査:基礎ホルモン値、AMH 画像所見: 経腟超音波所見(内膜症性嚢胞の嚢胞径) 安全性情報：穿刺後の発熱、疼痛、感染、抗菌薬使用、入院、手術介入の有無	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　産婦人科学講座
		氏名	川本　茉利子
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院　産婦人科学講座 研究責任者：助教　川本　茉利子（カワモト　マリコ） 窓口担当者：助教　川本　茉利子 電話番号：03-3433-1111(代表)　(内線)3521(産婦人科医局) 対応時間：平日 9：00　～　17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。